

❖ 著者紹介      \*は編者

\* 吉 永 一 行 (よしなが かずゆき)

東北大学大学院法学研究科教授。専門は民法。

主要論文・著書

原田昌和・寺川永・吉永一行『民法総則〔第2版〕(日評ベーシック・シリーズ)』(日本評論社、2022年)

「2019年ドイツ世話法改正」法学83巻4号

「役務提供型契約法改正の挫折—法制審議会民法(債権関係)部会の議論の分析」産大法学48巻3=4号合併号

「委任契約における利益の吐き出し請求権(1)(2・完)—ドイツ法における受任者の引渡義務についての議論を手がかりとして」民商法雑誌126巻4=5号合併号、6号

中 村 邦 義 (なかむら くによし)

京都産業大学法学部教授。専門は刑法。

主要論文・著書

「正当化事情の錯誤について」刑法雑誌58巻2号

「わが国の租税刑法における違法性の錯誤」産大法学50巻3=4号

立石二六編著『刑法事例30講』(成文堂、2013年、分担執筆)

二本柳高信 (にほんやなぎ たかのぶ)

専修大学法学部教授。専門は憲法。

主要論文・著書

君塚正臣編『高校から大学への憲法〔第2版補訂版〕』(法律文化社、2025年、分担執筆)

『私益・集合的決定・憲法—アメリカ合衆国における立法・憲法改正のプロセス』(信山社、2023年)

「エントレンチメントと合衆国憲法の契約条項」産大法学46巻4号